

## スキルアップのための研修プログラム（雑誌コース）

概要：目録システム講習会の雑誌コースは受講機会が少ないので、自習システムにより、それを補い、はじめて目録を作成する人でも目録業務の流れを把握し、システムを理解して、書誌・所蔵を正確に作成することができるようにする。

内容は、現在、講習会で使用されているテキスト・課題集をベースにしたものとする。ビデオ・スライドが存在する項目はそれを見てもらい、テキストのHTML版とマニュアル類のHTML版は任意に参照できるようにする。ビデオやスライドがない項目については、テキストのHTML版を教材とする。

検索、所蔵登録までは教育用DBを利用可能だが、登録実習（書誌流用入力・書誌新規入力）、登録実習（書誌修正）では複数の受講者がいた場合、課題が成立しなくなるため、研修用の仮想DBを用意する。受講者作成画面は、受講者専用の一時的ディレクトリを作成し、そちらに一定期間保存し、受講者が参照できるようにする。

基本的にはプログラム（1）からの受講を推奨するが、受講メニューにラジオボタンを用意することで任意項目のみの受講を可能とする。全画面にログアウトボタンを用意して履修中の中断を可能にする。

1．対象：NACSIS-CATシステムによる業務実施館で、現在雑誌目録業務を担当している職員。特にはじめてNACSIS-CATシステムを使う方や、業務を離れていて再教育が必要な方等。

2．到達目標：目録の検索・登録・書誌作成等ができるようになること。

3．プログラム：

### (1) [目録システム概論](#)

NACSIS-CAT 概論ビデオ（選択）・・・目録システムの基本思想・総合目録データベースでのレコード表現はどのようになっているか

[雑誌](#)ビデオ（必須）

理解度確認テスト（理解度が低いと復習を促すコメント）

### (2) [目録情報の基準](#)

[雑誌](#)ビデオ（必須）・・・総合目録データベースのレコードの特性を知る（共有データ、各参加館の固有データ） 書誌レコードの作成単位を理解する、典拠レコードの作成単位を理解する。所蔵レコードの作成単位を理解する

理解度確認テスト（理解度が低いと復習を促すコメント）

### (3) 目録検索

#### 1. 端末操作説明

WebUIP 接続・・・方法と注意点 ([このような](#))

#### 2. [目録検索](#)

検索概要の説明・・・検索の流れと検索の仕組み、「重複登録」をしないための検索方法を習得する。

理解度確認テスト (理解度が低いと復習を促すコメント)

#### 3. [検索実習・解説](#)

テキストの例題および課題集の検索 (テスト形式)

実習では、「ヒットするかどうか」だけでなく、求める書誌レコードかどうかを同定することに注意

### (4) [登録総論](#)

“あれば使う，なければ作る”ことを確認する。求める書誌レコードが総合目録データベースにあるかないかによって，大きく 2 つのパターンにわかれること，さらに，修正は必要か，どのファイルのレコードを使用してレコードを作成するのか，によって登録のパターンが分かれることを確認する。書誌レコードを登録する際には，データを入力すると共に，リンクを形成する。このリンク形成によってリンク参照が可能となる

理解度確認テスト (理解度が低いと復習を促すコメント)

### (5) 登録実習

#### 1. [所蔵登録](#)

テキストの例題および課題集の登録 (テスト形式)

#### 2. [書誌流用入力](#)

テキストの例題および課題集の登録 (テスト形式：作成後、解答ボタンを押すと解答例と解説、N I I への報告画面例・変遷マップ例が別ウィンドウで開く)

#### 3. [書誌新規入力](#)

テキストの例題および課題集の登録 (テスト形式：作成後、解答ボタンを押すと解答例と解説、N I I への報告画面例・変遷マップ例が別ウィンドウで開く)

#### 4. [書誌修正](#)

テキストの例題および課題集の登録 (テスト形式：作成後、解答ボタンを押すと解答例

と解説、N I I への報告画面例が別ウィンドウで開く)

[補講1](#).所蔵データにおける「巻レベル・号レベル」

理解度確認テスト(理解度が低いと復習を促すコメント)

[補講2](#).書誌データ記入法

1. 巻次・年月次の書き方

理解度確認テスト(理解度が低いと復習を促すコメント)

2. その他のタイトルの記入方法

理解度確認テスト(理解度が低いと復習を促すコメント)

3. 変遷マップの書き方

理解度確認テスト(理解度が低いと復習を促すコメント)

4. タイトル変遷の基準

理解度確認テスト(理解度が低いと復習を促すコメント)

[補講3](#).書誌レコードの削除予定レコード化

理解度確認テスト(理解度が低いと復習を促すコメント)

4. 必要な教材: 雑誌編のテキスト・検索課題集・登録課題集・学総目データ作成マニュアルのHTML版

その他各項末に ILL 自習システムのような理解度確認テストを用意する(サンプルあり)

5. プログラムに沿った実習課題のプロフィール・解答は講習会使用のものとする。